

問 フレイル予防の推進は

加齢にともなう虚弱状態をフレイルと名付け、その予防に「食事・運動・社会参加」の3つを柱にした取組がある。健康寿命の延伸に寄与し、医療・介護の費用軽減の効果も期待されている。介護予防事業などで推進をしてはどうか。

答 社会参加に関する情報を提供していく

当市の介護予防事業は、フレイル予防の項目を含め、高齢者の生活機能向上に向けて取り組んでいる。今後、簡易なフレイルチェックの方法を、既存事業や出前講座などで紹介するとともに、機会を捉えて高齢者に対し社会参加に関する情報を提供していく。



菱沼あゆ美 議員
(公明党)



想定浸水深標識

問 災害から命を守るまちづくりを

災害時の避難を促すため、ハザードマップの活用方法の周知や、浸水の可能性のある地域の電柱に想定浸水深標識を設置すること、個人や家族のマイ・タイムライン(時系列の避難行動表)の導入推進をしていくべきではないか。

答 避難を促す取組を推進していく

ハザードマップは、想定被害状況のみならず、避難情報や災害情報の入手方法などを掲載している。また、想定浸水深標識の設置など迅速な避難行動につながる効果的な施策を調査研究していくとともに、マイ・タイムラインの作成についても周知・啓発していく。

問 保育・幼児教育の無償化

閣議決定された保育・幼児教育の無償化はいつからか。対象児の年齢や所得制限、認可外など内容は。無償化になれば入所希望者が増えると思うが、施設や保育士などの人材確保策は。財源は消費税増税分を充てるというが、市の負担はどれくらい増えると考えるか。

答 無償化の経費は、国において負担を

無償化は、31年10月から、3歳児から5歳児までの利用料が対象となる。施設は次期計画にもとづき整備、保育士の確保は処遇改善など国に要望、県の人材バンクを活用していく。市の負担は約1.7億円の見込みだが、国において負担するよう要望していく。



井上日出巳 議員
(創政会)



勤労者体育センター

問 勤労者体育センターの暑さ対策

市で唯一の市民体育館ともいうべき勤労者体育センターのアリーナは、風の通りが悪く、夏場は著しく高温になり、暑くて利用者に不評である。利用者の運動中の健康管理や熱中症予防のためにも、せめて冷風機などの設置が必要と思われるが市の考えを伺う。

答 暑さ対策を実施していく

勤労者体育センターのアリーナの利用者が、快適に利用できるよう、暑さ対策を実施していく。対策として、こまめな窓の開け閉めや空気を滞留させないための大型扇風機の活用、また、冷風機の設置についても前向きに検討していく。